

中津川仙台下クラブ活動報告書 2017.10

中津川仙台下クラブは、愛川町を流れる中津川のちょうど中間に位置する仙台下川原で川原の清掃・整備作業を中心にまちづくり分野の事業を行っている公益活動団体（任意団体）です。

この1年間前半（2016年10月～今年3月）は、神奈川県水源環境保全市民事業として活動しましたが2017年度に入り県の事業は5年間を経過し終了しました。代わってあいかわ町民活動応援事業に採用され、同様の活動を続けています。

川原の環境整備

県の補助金事業5年間を通じて原野状態だった5ヘクタール超の川原は、一応どこでも人が踏み込める状態になりました。外来樹木や無駄な樹木の伐採・伐根・搬出処理、激しい凹凸や湿地状態は建機による平坦化を進め、川原環境の再生はひとまず完了しました。これからは継続的な除草により維持管理を行います。月に1回定例作業日を決めてメンバーが集まって作業を行います。今後、この定例作業はサポセンを通じて、またフェイスブックでボランティアを募集し多くの町民が参加する活動にしていきたいと考えています。

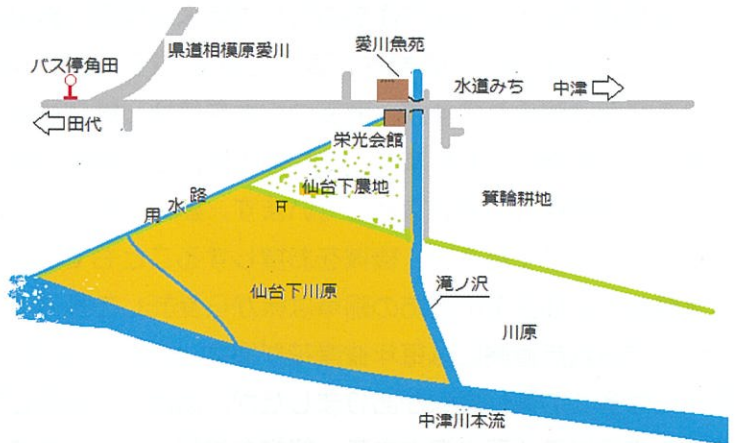
川原が使いやすくなり、今では多くの来訪者があります。土日休日小川の周辺は、育成会の行事や子育てお母さんグループの水遊びで毎週にぎわっています。この小川には蛍が飛び交うようになりました。水鳥やねむの木の花は写真愛好家の絶好の撮影ポイントです。

キャンプやバーベキューに最適な木陰空間もあり、県内各地のボーイスカウト団体が訓練地として活用されています。設備の整ったキャンプ場とは違いますが、ここを利用される皆さんは私たちの活動を理解していただき、ごみひとつの残さずに帰ってくださいますのでうれしい限りです。川原は河川法で利用者が守るべきことは細かく決められていますが、市民共有の財産ですのでルールを守って自由にお使いいただけます。

川原整備以外の活動

米作り体験事業

箕輪耕地の休耕田対策として27アールの水田で、町内外の方々の参加によるコメ作り体験事業を行っております。昨年の収穫はキヌヒカリ 785kg、もち米 260kgでした。収穫は参加者への分配と協力者への謝礼、そして一部を販売して活動資



金に充てております。田植えや草取りの苦勞、収穫の喜びもみんなで分かち合いました。さらには田植え前の泥んこ遊び、年末の餅つきで子供たちにも貴重な体験の場となっております。今年の稲刈り・脱穀はこの報告書が出るころ行われます。いまからの参加も歓迎しますのでお問い合わせください。今年の栽培はコシヒカリよりもさらに美味といわれる湘南生まれの「はるみ」です。ご期待ください。



里山再生事業

川原整備で培った技術で住民の方々の庭木の伐採、裏山の樹木の間伐、下刈りなどの作業をご要望に応じて行っております。できる範囲は限られますが、裏庭の樹木を伐採し眺望を復活して喜んでいただいております。これらの伐採した樹木は機械で効率よく薪を作って販売などしています。薪のご用がありましたらお申し付けください。機械をお貸しすることもできます。

箕輪耕地と仙台下の堤防の除草は県から受託した事業ですが、きれいに仕上げられた道端には毎年彼岸花が増え、名所にもなりつつあります。愛川には多くの果樹農家がありましたが、高齢化に対応してこれらの事業を引き受ける「里山資本主義」経営も検討しております。皆様の情報をお届けください。



観光お花畑と野菜作り

長年使われていなかった仙台下農地（畑）の管理を任せられ、ここをまちづくり事業として観光お花畑にしようと取り組んでおります。春は菜の花、夏はひまわり、秋はコスモスと季節ごとの草花を咲かせます。畑の縁はざる菊で囲いました。

今年の夏は長雨にたたられてヒマワリが背の高い雑草に負けてしまいました。この事業を成功させるために皆様のお知恵とお力をお貸しください。



あれもこれもと、手に余る事業を引き受けようとしておりますが、私たちの活動を核にして、愛川町のまちおこしが発展し活性化していくことを理想としております。賛同される皆さんが集まって、新しい団体が結成され細胞分裂していくことを理想としています。



お問い合わせ先は；

代表 沼田 彰 080-1066-5154

e-mail:sumida@hb.tp1.jp

URL:www7b.bigloe.ne.jp/~sendaishita/